

Tokuyama College		Year	2022		Course Title	Industrial Arts
Course Information						
Course Code		0023		Course Category		General / Compulsory
Class Format		Seminar		Credits		School Credit: 2
Department		Department of Computer Science and Electronic Engineering		Student Grade		2nd
Term		Year-round		Classes per Week		2
Textbook and/or Teaching Materials		なし				
Instructor		Yamada Tetsuo,Kikuchi Yuma				
Course Objectives						
工芸と人間の関わりが理解できる。 造形技能と感性の統一された立体やオブジェをつくる態度が身に付き、技法と制作方法の基礎を身につける。 身近に使う物を工芸の視点からつくることができる。						
Rubric						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1		基本を十分に意識して創作することができる。		基本を意識して創作することができる。		左記に達していない。
Assigned Department Objectives						
到達目標 C 2						
Teaching Method						
Outline		美術のジャンルである絵画、彫塑、デザイン、工芸を理解させながら工芸分野に重点を置く。その中で陶芸を中心に置いて制作実習を行う。併せて感性と工学の調和した作品の制作を考え、伝統技法や現代工芸、民芸等について関心を引き出す。				
Style		授業形態は制作を中心とし、創造性、技能、関心態度（集中力、精巧さ、持続力等）を高め、チェックリストと学習シートで確認する。				
Notice		評価法 作品評価 意欲（10） 構想力（20） 表現力（20） 技能（20） 態度（15） 準備物、集中力、精度、体の構え・物の構え・心の構えを中心に評価。当該項目を分かりやすく示し、自己評価を加味して評価。 知識（15） 材料の知識 各国工芸の現状の知識 機械と手をうまく利用した作品の論評 工芸史 2021.7.12 - シラバスにある評価割合の表記を修正。（上記の評価方法は変更しない）				
Characteristics of Class / Division in Learning						
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester r	1st Quarter	1st	工芸のジャンルと概要		現代工芸、伝統工芸、民芸の3つの世界とその発展の歴史についての講義。クレーモデルやファインセラミックスについてもふれる。レポート提出。	
		2nd	陶印制作 1		陶印の原型制作で、自己の風格を象形文字や篆書体で表し、石膏に彫刻する。のちのすべての自己制作品に押印させることを念頭に置いて作る。	
		3rd	陶印制作 2		同上	
		4th	湯呑をつくる 1		手びねりで真つぐな型の湯呑を作陶	
		5th	湯呑をつくる 2		同上	
		6th	湯呑を削る 1		出来た湯呑を専門的な道具で削り仕上げていく	
		7th	湯呑を削る 2		同上	
		8th	茶碗を作る 1		手びねりで徐々に角度をつけ茶碗を作陶する	
	2nd Quarter	9th	茶碗を作る 2		同上	
		10th	茶碗を削る 1		出来た湯呑を道具で削り仕上げていく	
		11th	茶碗を削る 2		同上	
		12th	皿を作る 1		手びねりでさらに角度をつけ皿を作陶する	
		13th	皿を作る 2		同上	
		14th	皿を削る 1		出来た皿を道具で削り仕上げる	
		15th	皿を削る 2		同上	
		16th				
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	粘土を再製する		今まで削った粘土を再製し再び使用出来る粘土にする	
		2nd	粘土を再製する		同上	
		3rd	仮面をつくる		自分の顔をネックレスやブローチを想定し作陶させ彫塑の基礎と関連させる	
		4th	仮面をつくる		同上	
		5th	仮面をつくる		同上	

		6th	オブジェ	その時タイムリーな出来事や物から共通のテーマを選び独自の発想で作陶する
		7th	オブジェ	同上
		8th	オブジェ	同上
	4th Quarter	9th	オブジェ	同上
		10th	花入	手びねりもしくは固まりから一輪花入れの作陶をする
		11th	花入	同上
		12th	自由製作	今まで作陶したなかで、一番趣味を持ち又作陶してみたい物を選び作陶する
		13th	自由製作	同上
		14th	自由製作	同上
		15th	自由製作	同上
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	課題						Total
Subtotal	100	0	0	0	0	0	100
総合評価	100	0	0	0	0	0	100
態度	0	0	0	0	0	0	0
知識	0	0	0	0	0	0	0